

震災後、私權保護ニ関スル善後策

曠古ノ大震災ニ付各方面ニ幾多ノ問題ヲ

惹起シテ居ル其内ニ私權ヲ保護スル區裁判所

登記出張所區役所稅務所公證人役場等ノ燒

失シタルモノモアル夫レカ爲メ私權保護ノ問題ニ

モ非常大影響カアル戶籍ニ不動産登記ニ借

地問題ニ私權ノ證明ニ種々ナ難問ヲ生シ私權保

護ノ裁判所テモ充分之カ救済回復ノ途ヲ講セ

ネハナラヌ既ニ其善後策ヲ講シ居ルモノヲ擧ゲテ一般ノ注意ヲ

促シタイ

第一燒失シタル不動産登記簿 不動産ノ登

記ヲ取扱テ居ル登記出張所テニ長町出張所

林町出張所ノ二ヶ所類燒シ其ノ登記簿ハ全

部燒失ノ不幸ヲ見ルニ至ツタニ長町出張所

ノ管内神田區下谷區淺草區林町出張所ノ管

内本所區深川區ノ不動産登記ハ全然無クナリ

シ譯テアル市内ノ燒失區域ヲモ日本橋區京

橋區ハ東京區裁判所テ登記ヲ取扱ヒ芝區

赤坂區ハ赤羽町出張所テ廻町區四谷區小石川

區本郷區ハ富士見町出張所テ登記ヲ取扱ヒ

其登記所ハ災害ヲ免カレタレハ安心テアルカ

燒失シタ神田下谷淺草本所、深川ノ五區ノ登記

ハ之カ回復ノ途ヲ講セネハナラ又其方法ハ回復登記ノ手續テアル

此回復登記ノ手續ハ去ル十五日司法省ノ告示ニヨリ東京區裁判所ニテ取扱フ事ト爲シ其回復登記申請ハ登記濟証アルモノハ之ヲ添ヘテ申請スルヲ本則トス其登記濟證ナキモノモ所有權ノ回復登記ニハ土地臺帳騰本ヲ添ヘテ申請スレハ良イノテアル此土地臺帳ハ稅務所ニアル筈ナルモ稅務署モ燒失シ其騰本ヲ取ル事ハ出来ヌカモ知レヌ淺草區役所ハ燒失ヲ免カレ土地臺帳騰本ハアル筈又神田下谷本所深川ノ各區役所ニアル土地臺帳ノ騰本ハ燒失ヲ免カレタト云フ事テ

アル其騰本ヲ貰フテ之ヲ添ヘテ出セハ所有權回復登記ハ出来ル譯ナレハ所有權者先ツ安心テアル尚裁判所ニテ其燒失區域ノ土地臺帳騰本ヲ作以ノ上備付リ回復登記申請ノ便ニ供スル筈テアル全然此等ノ証明方法ノナイ登記ニ付テモ司法省ノ告示テハ種々ノ證明書ニヨリ回復登記ノ申請カ出来ルコト、爲シ又裁判所テモ種々材料ヲ集メ其方法ヲ講シ一般ニ此回復登記ノ相談ヲ受クル爲メニ東京區裁判所ニ相談所ヲ設ケアレハ遠慮ナク相談ニ来テ貰ヒ度イ

第二 燒失シタル戸籍簿ト身分證明

戸籍、取扱ヲ爲ス區役所ニ麹町、日本橋、京橋、神田、
下谷本所、深川、芝、八區役所ハ燒失、厄ニ遭ヘリ
其麹町、神田、芝、深川、四區ハ區役所、戸籍吏員
ハ奮闘ニテ幸ニ戸籍簿ノ燒失ヲ免カレマシタ。淺
草區役所ハ全ク燒失セサリシ故此等、區民、戸籍
ハ安全ニ保護セラレ身分ヲ證明スルコトノ出來ルハ洵ニ
幸福ノ事ヲ深ク其職責、奮闘ヲ感謝スヘキテアル
日本橋、京橋本所、三區ハ全部、戸籍簿ヲ燒失シ
下谷區ハ其一部分ヲ除外ハ燒失シタレハ此四區テハ
區役所テ身分ヲ證明スルコトハ出來ヌ
其燒失シタル戸籍簿、回復ハ新戸籍再製、手續
テアル幸ニ東京區裁判所ハ災厄ヲ免カレ戸籍簿、
副本、身分證書ヲ完全ニ保存シアレハ之ニヨリ、新戸籍

再製ノ資料カアル譯テアル、不日司法大臣ヨリ戸籍
役場ニ其再製ヲ命セラル、事ト思フ、然シ其再製造
ニハ幾多ノ日子ヲ要スル故其間、救済策ヲ講セホナ
ラヌ、幸ヒ東京區裁判所ハ戸籍、副本カ保存シ
アリ、又大正四年一月一日以後、身分ニ關スル證書類モ區
役所ヨリ廻送サレ保存シアレハ其届出、日サハ判レハ之カ
證明カ出來マス、尙裁判所、方テ様々ナ記録等
カラ端緒ヲ得テ何トカ證明ノ出來ル様最善、努力
ヲ盡シテ居マス故生命保險其他、關係上、身分證
明、入用ナル人テ其證明、途カ無クテ困難ニテ居ル人ハ
東京區裁判所ニ身分證明ニ關スル相談所ヲ設ケ
アレハ相談ニ來タル、様ニ致シ度イ、

第三、供託證書、燒失、

東京供託局ニ供託シタル金銭有價證券、供託證
書ヲ燒失シタル人モ澤山アルト、思ハル、カ東京供託局ハ
幸ニ燒失ヲ免カレ、必要書類ハ一モ散逸シテ居ラヌカラ、供
託證書、燒失シタルモノヲ其拂戻時期、到來シテ居ル
モノハ本人カ出頭シ印鑑證明書ヲ提出スレハ二三週間、
公告手續ヲ經テ上其拂戻手續ハ出來ルヲアル、
日本銀行モ此種書類ハ燒失ヲ免カレタルハ其金員ハ
金額、拂戻ヲ受ケラル、等ナル斯ル事情アル人ハ東京供
託局就テ其取扱ヲ尋ネラル、様ニ致シ度イ、

第四公證人役場、公正證書燒失

東京市内、公正人役場、内麴西區、小田切英、其區、
松宮尚二郎、四谷區、太田與一郎、中込區、肥田建吉、神
田區、宮川九郎、本郷區、加藤信存、役場ハ燒失

ヲ免カレ、小石川區、前田久次郎、浅草區、佐野辰一郎
役場ハ燒失シタルモ公正證書原本ハ持出シ赤坂區、
岡本一雄、役場崩壞シタルモ公正證書原本ハ持出シ
タレハ其關係人ハ安心セラレタイ、神田區、佐竹巳之松
浅草區、木村代三郎、下谷區、大澤光吉、役場ハ
燒失シ公正證書、一部モ持出シ、神田區、鶴丈一郎
其區、今井萬吉、日本橋區、大橋三郎、浅草區、宮
地貞親、三輪義熙、神田區、菅原良三郎、野田捨藏
氷田實、日本橋區、飯田平吉、澁澤昇三、古川五郎
松澤卓、親、京橋區、中山文次郎、野澤鷄一、下谷區、
廣瀬義親、秀島雄二郎、本所區、永島巖、深川區、
横尾則義、役場ハ類燒、公正證書ハ全部燒失シタリ、
此公正證書燒失、回復方法ハ公正證書、正本又ハ謄

本ヲ持ツテ居ル者ハ之ヲ公證人役場ニ差出シテ役場ニ備付ケ原本ト爲シ之ヨリ公證人ニ更ニ正本又ハ謄本ヲ複製シ其回復手續ヲ爲ス當テアル夫レ故焼失シタル公證人ハ成可ク急ニ假役場ヲ設ケ此回復手續ヲ爲ス様ニ努メサセテ居ル次第故公正證書ノ原本又ハ謄本ヲ所持スル人ハ之ヲ其公證人役場ニ差出シ回復手續ヲ盡サルカ相當テス其正本謄本ヲ所有スル者ナキ公正證書ハ之カ回復ノ方法ハアリマセ又然シ夫レカ爲メニ當然權利ヲ失フ譯シモノデモアリマセ又不動産登記簿トカ其他ノ公記録ニ其權利ノ記入アリ之ヨリ其權利ヲ證明スル事出來ルモノハ之ヲ引用シテ權利ヲ實行シ得ルノデス

第五 私權證明書類ノ焼失

ハ

公正證書以外ノ證書類カ焼失シ自今ノ權利ノ證明困難ト爲リシ者カ多クアリマス其内ニ權利者義務者双方ノ書類ノ焼失シタルモノモ一方ノ書類ヲ失フタモノモアリ其一方ノ書類ヲ失フタモノ内ニモ權利者側カ證書ヲ焼失シタルモノト義務者側カ書類ヲ焼失シタルモノアリ其關係ハ極メテ混乱ヲ來タス次第デアリマス

一義務者側ノ一方ノ書類ヲ焼失シ權利者側ノ證書ノ殘存シ居ルモノハ其權利ノ實行ハ先ツ安心デス現ニ銀行會社其他官廳等カ焼失シ預金元帳其他會社或ハ官廳ノ元帳カ焼失シテモ權利者ノ方ノ預金證書其他權利證明書類ノ殘存シ居ル分ハ銀行會社又ハ官廳テ之ニ支拂ヲ爲ス第其權利ノ實行ハ先ツ安全デアリマス權利者ノ證書ノ殘タモノ内ニハ火災ノ爲メ燻アリ暫ク置

クハ廢滅ニ歸スル虞ノアルモノモアリマス斯ルモノハ裁判所ニ證據保全ノ申立ヲ爲シ其文詞及情態ヲ調査シ之カ保全方法ヲ採テ置クノカ安全テス

一 權利者側ノ證書ハ燒失シ義務者側ニシテ書類ノ残タモノハ一私人間テハ問題カ混亂シマスカ官廳トカカ義務者テ其書類ノ残タモノハ其書類ニ基キ支拂ヲ受クル見込カ充分アリマス現ニ官廳テハ斯様ノモノニ支拂ヲシテ居ルモノモアリ又會社等テモ確實ナル會社ハ目分ノ商業帳簿ニヨリ債務アルコトノ明カナルモノハ之カ支拂ヲ爲サネハナラヌ筈テス

一 權利者側ノ證書モ義務者側ノ書類モ共ニ燒失シタモノハ其救済ハ極テ困難テアリマスカ登記簿

等ニ其關係ヲ記入シアルモノハ之ニヨリ證明モ出来決シテ失權ノ虞レハアリマセン其他公ノ書類及令訴訟記録又ハ登記申請書類等ニ添付シタ書面ニ其關係ヲ證スルコトノ出来ルモノモ少クアリマセン裁判所ハ此等ノ書類ニヨリ救済ヲ爲シ得ルモノハ法令ノ許ス限リハ閲覧謄寫ヲ許ス事ニ致シテ居リマス

双方ノ書類カ燒失シ右様ノ證明方法モナク私權ノ證明困難ナルモノニ付テモ其善後策トシテ裁判上ノ争トナレハ人證令テモ何ニテモ相當ノ證據ヲ採用シ之ヲ審判シ何等證據ノナキモノテモ和解ノ方法ニヨリ之カ解決ニ努メル筈テスカラ必スシモ悲觀スルニモ及ヒマセン

第六事實上實行ノ困難ヲ生スル取引關係

前ノ様ニ證明ニ困難アル譯テナク其證明ハ出來
テモ震災ノ爲メ物資缺乏資金融通ノ困難ナ
ル事情ヨリ其取引關係カ普通ノ如ク實行ス
ル事カ出來ヌ爲メ取引者間ニ困難ヲ生スル
モノモ少クハナイ様テス斯ルモノ、救済策ト
シテハ裁判所ニ和解ノ申請ヲ爲シ互ニ讓歩
シテ圓滿ニ解決スルノ方法ヲ採ルカ良策テス
裁判所モ斯ル和解ニ付テハ充分ノ力ヲ盡ス
事ニ協議シテ居リマス尚ホ近ク調停法ト
云フ様ナモノカ發布サレ之レカ救済ヲ爲ス
事ニ爲ルカモ知レマセン

第七借地借家ノ紛争

今回ノ震災ニヨリ家屋焼失シ借地借家ノ間
題ニ紛争ヲ來タス事ト思ヒマスカ借地權ニ付
テハ家屋焼失スルモ尚ホ法定ノ期限内ナレハ
借地權ハ無クナルモノテハアリマセヌ尤モ臨時
ノ設備其他一時ノ使用ノ爲メノ借地權ハ斯
ル場合消滅スルモノアリ又法定期限ノ過キタ
モノハ借地權ハ當然繼續スヘキモノテハアリマセ
ヌカ普通ノ場合ハ期限内ノモノハ家屋カ焼失
シテモ借地權ハ失ハス引續キ其土地ヲ使用
シ建造物ヲ建ツル事カ出來ル譯テス然シ特
種ノ慣習ヌハ特約等ノアル特例ノモノハ種々ノ
議論ヲ來スモノカアリマスカ一般ノ本則トシテハ家
屋焼失ノ爲メニ借地權ハ當然消滅スルモノテハアリマセヌ

借家ニ付テハ其家屋カ焼失スレハ其借家
權ハ無クナリマス然シ借家人ハ家ヲ借
リ或ハ種々ノ物品ヲ持込ミ其地点ヲ占據シ
居ルモノナレハ其家カ焼失スルモ其所ニハ
焼残ノ物件残存シ之ヲ整理シ保管スル
ニハ尚ホ其地莫ニ止マル必要アリ且斯ル
緊急情態ノ場合ニシテ適當ナル立退先ナ
キ以上其場所ニテ残存物ヲ整理スル必要
アレハ相當ノ立退先ヲ得ル迄ハ其地莫ニ仮
小屋ヲ造リ之ヲ處理スルコトヲ得ヘキ筈テ
ス之カ爲メ借家人カ借地權ヲ得ルトカ
建造物ヲ建ツル權利ヲ得ルト云フ次第
テハアリマセヌ一時ノ建物ト看做シ得サル

仮小屋ヲ作り得ルト云フニ過キナイノテス
其緊急ノ必要カ終了シ適當ノ立退先ヲ
得ルニ至レハ之ヲ撤廢シ退去スヘキテアリマ
ス然シ地主又ハ借地人ト協定シテ一時ヲ限
リ家屋建設ノ爲テナクバラックヲ建ツル
承認ヲ得テナレハ至極結構テス
是等借地借家ニ付紛争ヲ生シタルトキ
ハ之カ救済策トシテ借地借家調停
法ニヨリ調停委員會ノ調停ヲ求メ
之ヲ解決スルカ最も適切ナ方法テス
此莫ニ付テハ裁判所側ニ於テ災害地
區役所ノ附近ニ借地借家調停委員
會出張所ヲ設ケ調停主任判事ヲ出

張セシメ調停委員モ會同シ最モ穩健ナル調停ニ努ムル計更テ立テ既ニ其實行ニ着手シタルハ成ル可ク調停ノ申立ヲ爲スコトヲ望ミマス又事情ニヨリテハ地主側テモ借地人又ハ借家人側テモ裁判所ニ仮處分ノ申立ヲ爲ス事カ出来マス又裁判所ニ和解ノ申立ヲ爲シ互ニ讓歩シ其紛争ヲ解決スル途モアリマス

第八訴訟ノ進行

今回ノ震災ニ付東京地方裁判所東京區裁判所ハ幸ニモ災厄ヲ免カレ書類等ハ少シモ紛乱ヲ致シマセム故關係者

ノ利益ヲ保護スルニ大ナル便利ヲ有スル次第テス然シ職負ノ内ニハ多少ノ罹災者モアリ當事者辯護士諸氏ノ大多數ハ罹災シ到底完全ニ事務ヲ執ル事カ出来マセム依テ訴訟ノ進行ニ付テハ次ノ如ク取扱フ事ニ爲リマシタ

一民事訴訟ハ九月中ハ東京地方裁判所モ東京區裁判所モ事務ヲ執ラス訴訟ハ中断トスルコトニ協議シマシタ然シ裁判所ノ職負ハ全部出勤不能ト譯テハアリマセム故民事訴訟以外ノ非訟事件、登記事件、戶籍事件其他司法行政ノ事務ハ震災當日ヨリ一日モ空フセス職負出勤其事務ニ從事シ震災後善後策ヲ講シテ居マス

一、刑事訴訟事件ニ付テハ災害後一日之中絶セズ
執務シ公判開廷ハ職權ヲ期日変更ヲ致シタル
モ急速事件ハ總テ之ヲ處理シ暴利取締令違反
及事件災害ノ際ニ於ケル犯罪ノ起訴アル
モノハ直チニ審判シテ展マズ此等ノ事件ニ関
係アル人其辯護人ヲラントスル人ハ此点ニ御注
意ヲ願ヒ度イ、

十月ヨリ民事刑事總テ審理公判ヲ開廷
スルコトニ為リマシタ然レ同月中ハ缺席シ
テモ直チニ懈怠ノ責ヲ負ハシムル様ナ
事ノ無キ様ニ協議シテアリマス
一、民事刑事事件ニ付震災ノ為メ期間ヲ
守ル事ノ出来ナイ者カ原狀回復ノ中ニ在リ為

ストキハ十月中ハ充分斟酌スルコトニ協議シテ
アリマス

一、罹災者カ此際訴訟ヲ為スニ付訴訟上ノ救
助ヲ求ムルトヤハ相當ニ斟酌裁量ヲ為スコ
トニ協議シテアリマス

第九

執行及競賣 九月中ハ民事訴訟事件ニ付
事務ヲ執ラズ訴訟ヲ中断シタル故に裁判
所及執達吏ノ為ス執行競賣ニ付テモ九月中
新件モ旧件モ其進行ヲ妨サ、ル事ニ致シマ
シタ然レ裁判所職員ノ為レ得ル範圍ニ於テ
急速處分ヲ要スル仮處分事件ノ如キハ
之ヲ處理シ其執行ハ之ヲ實施スルコトニ致
シテアリマス

十月ニ入レハ執行及競賣事件ニ進行スヘキ
筈ナルカ事實競賣ヲ實施スルモ此際
當ナル競買人ハ得ル事困難ナル故事情ニ
リ相當ノ時期ニ競賣期日ヲ変更スルヲ
相當ト欲シタリ

第十生死不明者ノ失踪宣告焼失有價證券、
公示催告手続ニモ相當ノ救済方格ヲ
講スル必要カアリマスル此等ハ其方格決
定次第発表スル積リテス

大正十二年九月二十五日

東京地方裁判所長 今村恭太郎